



絶滅危惧種に指定

マツタケ、ヤシガニ…

絶滅危惧種に指定

IUCN

ニホンウナギ据え置き

国際自然保護連合が、3段階ある絶滅危惧種（IUCN）は9日、世界の絶滅危惧種をまとめたレッドリストの最新版を公表した。日本に関連する動植物では、新たに高級キノコのマツタケや沖縄県に生息するヤシガニなどが、3段階ある絶滅危惧種のうち3番目のラシクとなった。ニホンウナギは2番目のラングと据え置かれ、厳しく保護される。マツタケは日本や中国、北欧などで見られ、分布する松林の面積が減少している。ヤシガニは、約3分の1に当たる33種が絶滅危惧種に指定された。

過去50年で3割以上減ったと推定。日本では線虫による松枯れ被害や過剰な採取も減少要因だと分析した。

マダガスカルに生息するキツネザルの仲間IUCNは「森林破壊や狩猟によって生息環境の悪化が続いている」と指摘した。

最も深刻なラシクと評価された。体長9センチ程度で世界最小の霊長類マダムベルテナミキツネザルも言まれる。



マツタケ（上）とヤシガニ

日本に関連する種では、アカテンコバシハセやアカコバシハセなどが絶滅危惧種に指定された。コウモリは、ヤマコウモリが2番目のラシクとなり、危険度が1段階上がった。マツタケは今回、IUCNが初めて評価した。

から5%に約半年の間引き下げると発表した。消費を刺激し、雇用を維持するのが狙い。減税は飲食や宿泊、娯楽といった新型コロナ流行による打撃の大

問1

絶滅危惧種はどこが何にまとめて発表しましたか？

問2

日本に関連する動植物にはどんなものがありますか？

問3

自分が保護したい種を選び、どのようにすればよいか考えましょう。

保護したい種：

(2020年7月10日付 上毛新聞4面)

年 組 名前：
